



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

北の都旭川へようこそ！ 第 67 回コロイドおよび界面化学討論会へのお誘い

はじめに

第 67 回コロイドおよび界面化学討論会は、9 月 22 日(木)～24 日(土)の日程で、北海道旭川市の北海道教育大学旭川校と旭川市民文化会館にて開催されます。道北旭川での開催は今回が初めてで、討論会史上最も北での開催となります。討論会の開催に向けて、旭川医科大学、北海道大学を中心に、東京理科大学(長万部キャンパス)や旭川工業高等専門学校とのメンバーのご協力を得て実行委員会を立ち上げ、参加者の皆様のために現地で行うべき準備を進めています。また今年度は、現地の実行委員会だけでなく、部会の各委員会のメンバーに重要な業務の分担をお願いして“分業体制”で準備を進めます。これによって、どうしても人材の不足する地方開催の弱点を克服し、討論会や関連する事業・イベントを効率良く、効果的に開催できるよう、強いタッグを組んで進めて参ります。さらに旭川観光コンベンション協会からは大変好意的なご助言やご協力をいただくことができました。これも大きな助けとなっています。多くの方々のご協力を得ながら、私たちは努力いたします。北都旭川での討論会が実りある有意義な討論会となるように、皆様方のご協力をいただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

主題:「未来を創るソフトアクティブマターの化学」

コロイドおよび界面化学の対象は、私たちの生活から社会全体に至るまで広範に展開し、その基盤も物理化学から化学

工業・医療・食品・環境などの多くの応用分野につながっています。これらはそれぞれの分野で独自にかつ急速に発展してきましたが、これからの更なる発展のためには、未来へ向けて私たちの視野を広げ、コロイドおよび界面化学が依って立つ基盤について考察していくことが重要でしょう。

本討論会では、コロイドおよび界面化学の“未来を創る”研究が、基礎と応用の両方で活発に議論されることを願っています。コロイド・界面という字面にとらわれない“ソフトアクティブマター”という広い観点からのアプローチによって、本討論会が化学を中心とした総合科学としてのコロイドおよび界面化学の発展につながることを期待しています。

討論会の概要

一般研究発表は、例年どおり、分子集合体、組織化膜、微粒子分散系、固体表面・界面の科学と技術、ならびに応用・開発セッションの構成です。2016 年度 Lectureship Award 受賞者は、Otto Glatter 教授 (University of Graz, Austria) と Zhongfan Liu (劉忠範) 教授 (北京大学, 中華人民共和国) です。また、受賞講演として、科学奨励賞を受賞された武仲能子氏 (産業技術総合研究所) と村上良氏 (甲南大学)、技術奨励賞の五十島健史氏 (三菱化学 科学技術センター) の講演も企画しています。若手研究者および学生の研究意欲をより高めるための最優秀ポスター賞および若手優秀講演賞の授与も予定しております。多数の方が奮ってご応募下さることを期待しております。

2 日目の午前中には市民公開講座を行います。一般からも知られた著名な先生にご講演いただく予定です。市民公開講座と総合講演 (依頼講演・受賞講演) は旭川市民文化会館で行います。

今回の討論会では、オーストラリア・台湾を中心とした海外の研究者と国内の研究者との更なる交流の促進を目的として国際シンポジウムを開催します。国内からの積極的な参加を歓迎いたします。

また、学生向けイベント「キャリア探セッション 2016」では、学生の皆様が社会人になったときのイメージを膨らませるのに役立つ講演会と、企業研究者等との気楽な雰囲気でのグループディスカッションを行います。学生の皆様、奮ってご参加下さい。

なお、2 日目夜の懇親会はアートホテルズ旭川で開催いたします。

おわりに

9 月下旬の道北は旭岳の初冠雪を目前に、豊かな自然の恵みとともに、部会員のみならず日本化学会の皆様のご来訪をお待ちしています。この貴重な機会を是非お見逃しなく！ 討論会の詳細は、部会ニュースレターの会告、または部会ホームページをご覧ください。発表申込締切は 6 月 9 日です。広告・展示・ランチョンセミナーの出展企業も募集中ですので、ぜひご検討下さい。なお、ホテルはできるだけ早めにご予約下さい。

皆様、旭川でお会いしましょう！

〔第 67 回実行委員長 秋田谷龍男
(旭川医科大学)〕

© 2016 The Chemical Society of Japan